

苦笑いの「爆買い」

先月、中国新圳市に在住している友人からメールが届いた。内容は、最近の日本の治安と中国観光客の安全面の問題についての質問であった。筆者は客観的にみた日本の治安についての意見を返して彼らを安心させた。

中国の旧正月に当たる二月上旬、友人一行六人は日本にやってきた。約束通り東京で会い、池袋駅近くの大型家電量販店と薬局でショッピングをした。友人一行の中には高齢の父母、三代後半の長女、長男と孫二人がいた。最も裕福な長女は店に入ると直ぐに高級な炊飯器、高級な血圧器数点、高級の健康食品等の商品を購入した。合計金額は三十万円を超えていた。初めて

「爆買い」という場面を現場で見た。

買い物後、一緒に食事をして歓談している最中、お母さんは今回家族全員で訪日した経緯を説明した。若い長女、長男は幼い頃から中国の愛国教育を受け、いわゆる愛国反日派であるので、ずっと親の訪日計画に反対していた。最近、七十代のお父さんは体力の衰退を覚え、どうしても自分が歩ける内に一度、日本の観光したいと希望し、

娘たちを説得していた。やっこのことで長女、長男同意したが、観光のみで、食事以外の買い物絶対禁止と言う条件で決着した。

この面白い話を聞き、初の「買い物禁止令」から一転、「爆買い」になってしまった理由を聞いてみた。その一瞬のお姉さんの苦笑の表情は印象的であった。彼女は日本に来て、綺麗な環境、親切な日本人、良質な日本の商品、おいしい

日本の食品に接し、自然にくさんの物を購入する意欲が生まれたと説明した。

ここ数年、中国からの観光客は増える一方である。日本製品を大量購入により日本経済が活性化するという面だけでなく、日中両国の国民の交流も非常に盛んになると言う文化的側面からも非常に意義深いことであると思う。

